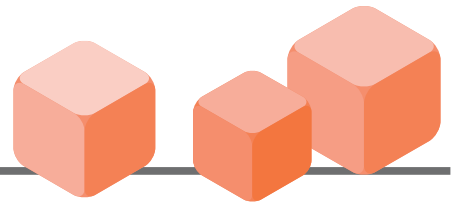


旭川校をご利用いただいている 受講企業の声



当校を実際にご利用いただいている企業の声をご紹介します。

旭川校に対しての考え方や自社ビジョンなど、とても貴重なご意見をいただきました。

今後も皆様と共に歩み、信頼される大学校を目指し、

中小企業の「ひとつづくり」に貢献できるように努力してまいります!!

富士金網製造株式会社

代表取締役社長 菊池 政男氏

2013年度
受講実績
延べ人数
264名

■ 受講のきっかけ

先代の社長が受講していたことがきっかけ。平成8年に就任した菊池社長自身も、これまでに延べ20回以上の研修を受講し、その内容は「財務戦略」「人材活用講座」「経営戦略」「リスクマネジメント」「戦略的会計」「トップセミナー」等多岐にわたっている。

■ 旭川校について

平成8年から毎年、全社員を対象に中小企業大学校旭川校の研修受講希望者を募り、受講を推奨し、希望者は1年間で2講座まで受講できる。役員や社員がこれまでに受講したコースは、製造現場の改善、営業や財務、管理職向け目標管理など、社内の全業務に及んでいる。

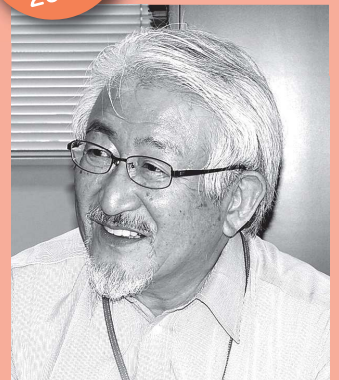
受講費用の他、宿泊費や食事代も会社負担としているが、「お金に代えられない効果がある」と強調されている。具体的には、製造現場向けの講座では若手リーダーが現場改善や5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の進め方などを学んでくる。管理職であれば、部下とどう接し、どう育てるかなどのマネジメント力も向上してくる。

■ 受講後の対応

社員は受講後、その動機や内容、それを社業にどう生かしていくかなどを報告するために、社長も出席する発表会を開いている。研修などは一般的、汎用的な内容となるが、それを人に話すことで自分の業務にフィードバックして考えられるようになる。しかも、これを繰り返すと話し方も上手になり、コミュニケーションの向上にも役立っている。

■ 最後に

菊池社長自身の受講経験から社員にも受けてもらおうと社内公募を始め、現在では社業発展への大きなツールとなっている。日本一の金網メーカーを目指すためにも、大学校での受講は今後も継続していきたい。



富士金網製造株式会社

創 業

昭和42年

資 本 金

2,000万円

従 業 員 数

83人

所 在 地

帯広市

主 な 事 業 内 容

金属線製品
「蛇籠」「マリネット」
「ドレンかご」等の
製造・販売

富士金網製造 会社概要

同社は、鉄線などを用いた金網に碎石などを詰め込み、港湾や河川の護岸に使う「蛇籠」の製造で創業した。その後、ポリエチレン被覆線材を使い、耐摩耗性や対衝撃性に優れた港湾築堤マット「マリネット」、堤防などの法面を保護しながら、湧水処理や植生効果も高い「ドレンかご」など独自の製品を商品化してきた。また、その技術を生かして一般住宅用の基礎鉄筋やビル用の鉄筋付き床材など民間需要の分野にも進出している。